

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2015年（財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会要項及び競技注意事項によって実施する。

2 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、基本的に直線路のアップ場を使用する。また、競技場のバックストレートを使用してもよいが、競技の進行に支障のないように注意すること。各練習会場の係員の指示によって行うこと。
- (2) 投てき練習は行わないこと。

3 招集について

- (1) 招集場所について
トラック競技は100mスタートの後方の器具庫に設置する。
フィールド競技は現地集合とし、各ピットにて招集を行う。
- (2) 招集時刻はその競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

トラック種目	30分前開始	20分前完了
フィールド種目	40分前開始	30分前完了
※J.O.予選の走幅跳に関しては 50分前開始 40分前完了		

4 競技運営について

- (1) トラック競技は写真判定装置を使用する。万一記録が出なかった場合には、再レースを行うこともある。
- (2) 短距離走のフィニッシュ後は、競技者の安全のため自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- (3) 走幅跳及び投てき競技は3回の試技の後、トップ8で3回の試技を行う。
- (4) 女子ジュニアC800m予選は、スタートからオープンで競技を行う。
- (5) スタートの合図は英語とする。不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。

5 ナンバーカードについて

- (1) 登録によって交付された番号に基づき、各自で作成したナンバーカードをユニフォームの胸部と背部に縫いつける。
- (2) 中長距離の競技者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側の後方につける。尚、腰ナンバーカードは招集所で配布する。競技終了後に返却する。

6 表彰について

3位まで入賞した競技者に賞状を授与する。

7 その他

- (1) 競技場での疾病・傷病等が生じた場合は、本部や救護係に連絡する。応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 芝生スタンドやコンコースを待機場所として利用する場合は、お互いに譲り合って使用し、通行等に迷惑のかからないように注意する。ゴミは持ち帰りとし、施設の整備に努める。